

中部台風被災者の生徒たちを助けましょう

ドンズー日本語学校の友人の皆様へ

毎年ドンズー日本語学校は「春の木運動」を行ってきました。当校の教員、職員をはじめ、学生、企業そして日本の皆様に呼びかけて、恵まれない子供たちにお正月に着る制服（南部地方）や冬服（北部、中部地方）を贈ってきました。



子供がノートを探しています

2009年は中部地方を何度も台風が襲い、多大な被害を与えました。116の方が亡くなり、多くの家や建物が崩壊し、学校では机、椅子、ノート、本など全てのものが流されてしまいました。

現在、台風は過ぎ去り、生徒たちは学校で勉強を続けようとしていますが、机や椅子などは壊れてしまい、勉強したくても勉強できるような状況ではありません。テレビのニュースで生徒たちが苦しんでいる光景を見た方もいらっしゃると思いますが、被害は私たちの想像以上に大きいものです。



数学満点のノートは濡れています

生徒たちは、崩れた家を掘り起こし、ノートや本を探し出し、泥をふき取ったり洗い流したりしてから、

道端に敷いて乾かしています。



ノートや本を干している生徒

学校の建物や施設等は、政府を含む行政機関が修理すると思います。ですから、私たちは、生徒たちが勉強できるように教科書やノートを贈って、彼らを励ましたいと思います。そのため、今年

の「春の木運動」で集まった寄付金は、すべて中部の台風被災者の生徒たちのために使いたいと思っています。ご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。



ノートを干しています

ノートは一冊3,000ドン（注：約16.5円）です。20冊を1セットとして生徒たちに贈りたいと思います。皆様の暖かく優しい気持ちの一部を子供たちの支援に廻してくださるようお願いいたします。

2009年12月1日

ドンズー日本語学校

ドンズー育英会

青葉奨学基金会

代表責任者 グエン・ドク・ホウエ